

## 人権キャラバン

「ねえねえ、ちょっと来て。あのさ、あそこにあるわたしのビーチバック取ってきて。」「あっ！〇〇ちゃんに口吻してって、言ってきて。」「あのおもちゃで遊びたいから、ここに持って来てよ。」と、自分は全く動かず、友だちにばかりお願いする子がいました。じんおさんは「めんどくさいことは、してもらった方が楽し、ちゃんとお願いしているから、いいよね」と話します。でも、ふわふわな気持ちを持った、けんこさんは、「お願されたともだちにもしたいことがあるよ。願ばかりされたら、自分のしたいことができないんじゃないかな？自分でできることは自分でしようよ。」と伝えます。

みなさんはどう思われますか？自分も大事、自分が大事と思うのと同じくらい相手も大事です。お子さんと一緒に考えてみませんか？



# いちょうの森だより



いちょうの森こども園 園だより No.37



いちょうの森こども園 HP には、QR コードまたは下記の HP アドレスよりアクセスできます。  
<https://ichionomori.okayamakodomokyukai.jp/>

令和2年度9月1日 発行  
いちょうの森こども園 園だより  
桜が丘東3-3-496  
TEL 086 (956) 2022  
FAX 086 (956) 2023

### 『自然から教わること』

この夏、玄関横に花壇が完成しました。花壇を作るにあたり、そら組のこどもたちも少しだけ手伝いをしたので、できあがった花壇を見ると、自分たちの物のように大切に感じているようです。このなかにどんな花を植えようかな？とこどもたちも想像をめぐらし、わくわくしています。春には園庭に増えた樹木に名前を書いた札を付けました。木にもいろんな種類があることが、図鑑で見るとはまた違い、実際に見たり触ったりすると「このきはつるつるしてる」「こっちはのはっぱはとってもちいさいな」とたくさんの発見がありました。そして、自分たちで書いた札を付けたことでその後もその木を大切に思い、水やりに励んだり、虫がついてないかな？と注意深く見守ったりする姿に私の心も暖かい気持ちになっています。

今まで身近にあった木も、花もなんとなく見ているだけではあまり興味も関心もなかったのに、ちょっとしたことで関心を持ち自然の形の面白さ、匂い、色のきれいさなどたくさんのことを教わったように思います。それと同時に小さな命を大切に思い、枯らさないようにと、せっせと世話をし、成長を見守る優しい気持ちも育ちました。

近頃は異常気象で自然環境も昔とは変わってきていて、寂しく思うことも多いです。四季もなかなか感じにくくなってきましたが、こども時代に自然と触れ合い、自然の中であそぶ、自然の美しさを五感で感じる機会をたくさん持ちたいです。それがこどもたちの心を豊かにしてくれるのではないかな、と願っています。今年は感染症で人の集まる場所には出かけにくいですが、こんな時だからこそ、自然に触れるチャンスかもしれないですね。

河合 比呂子



## 9月

- 1日 1号始業式
- 4日 避難訓練
- 8日 そら組デイキャンプ
- 25日 誕生会



## 10月

- 1日 運動会リハーサル
- 10日 運動会
- 13日 避難訓練
- 14日 そら組視力・聴力検査
- 16日 健脚活動
- 19日～ 個別懇談
- 23日 誕生会
- 22日 歯科健診
- 29日 内科検診

## 園庭でのあそび

この夏の園庭で、こどもたちに人気があったあそびはどろだんご作りです。園庭にある土山や砂場で日々、熱中して取り組んでいますが、どろだんごづくりを始めた頃は、水の量が多く柔らかいだんごになったり、力の加減が難しく握っているうちにくずれてしまうこともあり、「なんですぐこわれるん？」と悔しがる姿も少なくありませんでした。それでも、繰り返し遊ぶ中で、握り加減や水の量、さら砂のまぶし方、磨き方など、自分なりに考えて試してみたり、時には保育者が「どろだんごの絵本あったよね。その絵本を見たら上手に作れるようになるのかな？」と一つ提案をして作り方の確認をしたりして日々、試行錯誤しながら、少しずつぴかぴかのどろだんごが作れるようになってきています。

こどもたちがじっくり遊びこめる時間と場づくりを大切に、これからもこどもたちが園庭で試したり、挑戦したりしながらいろいろな発見やおもしろさに気づき、遊びを深めていけるような環境を作っていきたいと思います。

寺見 佳穂



# こんなのできました！

## えだまめグループ



おばけの製作をしました。黒い大きな画用紙と白色の絵の具を準備して、手型スタンプを押していきます。白の絵の具を手の平にたっぷりつけて、画用紙に思いっきりペタペタ。こどもたちの小さな手型も、何人もの手が重なると、あっという間に真っ黒だった画用紙が白い手型で埋め尽くされ、大きなおばけに変身しました。

絵の具が手に触れる感触や、画用紙に自分の手の形がうつる面白さを感じ、できたおばけは、こどもたちの人気者です。

## すいかグループ

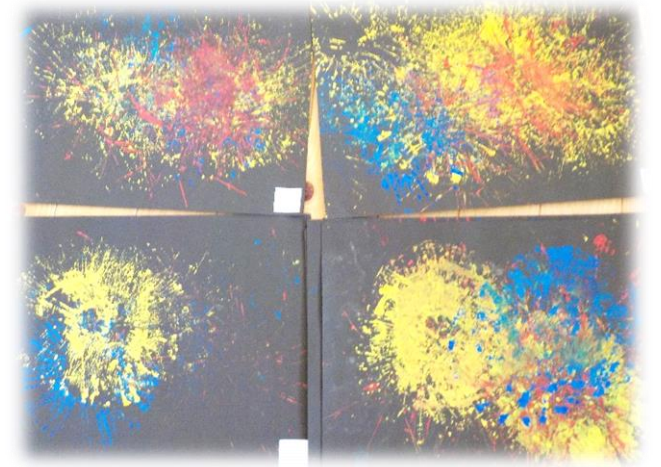


黄色の絵の具と模造紙を用意すると、こどもたちは「何するの?」とワクワクしながら近づいてきました。大きな桶に絵の具を入れて、手の平を絵の具いっぱいにしてダイナミックに押していきます。

手型が薄くなるまでペタペタと押しても「まだしていい?」と、どんどん押していったり、感触が面白かったり、あっという間に紙一面が黄色に染まりました。仕上げに自分たちの顔写真を貼り、葉っぱを描いて完成。すいかグループは、手形でひまわりを作りました。部屋に飾ると一気に明るく感じます。どろんこ服を汚しながらダイナミックに製作を楽しむことができました。



## にじぐみ



花火の製作をしました。トイレットペーパーの芯に切りこみをいれ花火のように開かせたら、絵の具をつけて画用紙にスタンプします。赤、青、黄と3色を用意し、自分の好きなように色を重ね、色とりどりの綺麗な花火が完成しました。

今年は感染症で花火大会が中止になり、実際に花火を見る機会がなく残念ではありますが、製作で自分だけの花火が出来上がり、「花火じゃ」と嬉しそうなにじ組さんでした。

## ゆきぐみ



手型スタンプでおばけを作りました。赤黄青の絵の具を見せると、みんな興味津々で手を伸ばします。

筆で手の平に絵の具を塗ると少しくすぐったような顔がまた可愛らしかったです。

一回ペタンと手形を押すと、楽しかったのか何度も紙をパンパンパンと手形を楽しんでいました。

## はなぐみ

夏野菜を使って、野菜スタンプをしました。ゴーヤ・なすび・オクラでしたのですが、ゴーヤやオクラは、スタンプの形が不思議だったようで、押した後に断面をチェックする姿も見られました。

スタンプした画用紙をうちわに貼り付け、こどもたちに渡すと、見覚えのあるもので愛着も湧いているのか、ずっと手に持って遊んでいました。

